

研究・調査報告書

| | | |
|---|--------|--------------------------|
| 分類番号 | 報告書番号 | 担当 |
| A-110 | 22-089 | 滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門 三浦克之 |
| 題名 (原題/訳) | | |
| Mortality risk for individuals with cannabis use disorders in relation to alcohol use disorders: Results of a follow-up study アルコール使用障害に関連した大麻使用障害者における死亡リスク | | |
| 執筆者 | | |
| Pavarin RM. | | |
| 掲載誌 | | |
| Psychiatry Res. 2022 Oct;316:114741. doi: 10.1016/j.psychres.2022.114741. | | |
| キーワード | | PMID |
| アルコール使用障害、COVID-19、大麻使用障害、循環器系疾患、死亡 | | 35908347 |
| 要 旨 | | |
| <p>目的：大麻使用障害の治療者の死亡率に関する研究はほとんどない。本研究では、大麻使用障害者およびアルコール使用障害併発者を比較し、大麻使用障害の治療者における死亡リスクを推定した。</p> <p>方法：2009年から2019年の間に大麻使用障害により医療サービスを利用したイタリア北部の住民1136人を対象とした。オピオイド、アンフェタミン、コカインまたは注射薬の併用者は除外された。1000人年当たりの粗死亡率、および年齢、性別、暦年で調整した標準化死亡率を計算した。</p> <p>結果：粗死亡率の上昇(4.4、3-6.4)は、大麻使用障害のみの患者(1.8、0.9-3.6)と比較して、アルコール使用障害を併発する患者(10.2、6.6-15.6)で大きかった。標準化死亡率(10.2、6.6~15.6)は、アルコール使用障害を併発する患者(5.4、3.7~7.8)および大麻使用障害のみの患者(2.3、1.1-4.5)で有意に高かった。</p> <p>結論：大麻使用障害患者は、アルコール使用障害を併発する患者に比べ死亡リスクが低かった。</p> | | |